

第 36 回 一橋植樹会 総会

平成 21 年 5 月 10 日 11 時

於 一橋大学佐野書院

国立キャンパス緑地基本計画 5年間の変貌

〈硬式野球場西側 岸田ロード〉

計画時 →



← 現在

〈陸上競技場南側 ススキ草原〉

計画時→



← 現在



第 36 回 一橋植樹会 総会議案

第 1 号議案 平成 20 年度事業報告並びに

決算報告承認の件

第 2 号議案 役員改選承認の件

第 3 号議案 平成 21 年度事業計画並びに

予算承認の件

第1号議案平成20年度事業報告

昨年の総会で発表しました事業計画に沿って活動してまいりました。多くの方々のご支援のお陰では目標が達成されたと思います。厚くお礼申し上げます。

ただ将来に向けて懸念材料も出てきています。それを強く意識して今後の会の運営に当らなければならぬと自省しています。項目別に下記報告申し上げます。

1. ボランティア作業関連

(1) 合計13回の作業実施（春、秋の大学祭直前の学生との特別共同作業2回と4月に有志少人数で行ったススキ野周辺の整備を含む）累計64回となりました。

1月は雨天で屋外作業中止。連続記録は途絶えましたが室内勉強会のあと寒駄大会を楽しみました。

今年の作業参加者数は延べ933名（教職員68名、OB404名、学生461名）、昨年の912名（教職員81名、OB432名、学生399名）より学生参加者の増の為、総員数で約2%増加しました。おかげさまで学生の組織的動員力の強化が図られつつあることは喜ばしく思います。OBの減少は、作業日の早朝からの天候不良（3回）による出足の遅りがあったことと作業後の打上げ会で現在お酒を出せないことなど多少影響したのではないかと考えますが、OBの減少止め策が今後の課題です。

(2) 大学策定の「国立キャンバス緑地基本計画」の達成状況検証を福鷲先生のご指導で2回行いました。この為だけにOB30名近くが参集。基本計画書を手に各ゾーンのカルテごとに元の姿、変更計画、現状達成度を見学。全部で51あるカルテを全て見て回ることは出来なかったが非常に勉強になると同時に、64回の作業と大学が行った外部業者の作業の成果を見て感概無量であった。全体として狙った方向に動いていることが確認されましたが、特に矢野次郎先生銅像付近、ひょうたん池周辺、ススキ野周辺は印象的であります。基本計画に沿った作業を開始して5年が経つのだから大学側でも正式に検証を行い発表されることを期待します。また最近無法な樹木伐採が大掛かりに行われている現状は憂慮される。大学側の再発防止策を切に期待します。

(3) 新規作業分野に関して施設課と話し合いしてきましたが現状下記します。

①キャンバス垣根周辺の清掃、業者委託作業との棲み分け

については適宜大学側で実施され解決されている。

②週末、祭日のOB特別作業、小平キャンパスの作業にかんしては進展なし。週末作業が企画出来れば若手OB会員の植樹会への参画意識や母校愛を高揚する一助になり価値あることだと思っているので引き続き話し合いをしたいと思います。

(4) 記念植樹：昨年、一昨年に続き今年も実施。ひょうたん池の横の空き地にクヌギ、コナラを寄贈。武藏野林再生の一環です。

(5) 作業用具としてリヤカー、プロアー、シルキー鋸など購入して作業効率を高めました。

2. 組織強化活動

(1) 定量的目標

①添付会員数推移表の通り会員总数1,000名、有料会員数900名の高い目標を略達成できました。一般会員増179名中149名(83%)は卒業年次会(延11回)における集中勧誘によるものです。会場では杉山学長のご支援も頂き深謝しています。又教員、職員ともに賛同に増加しました。米山先生、塙越事務局長はじめ皆様のご努力のお陰です。

因みに、

大学教員在籍414名、会員47名、組織化率11%
職員在籍167名、会員35名、組織化率21%
如水会員 約30,000名 会員 850名(一般のみ) 組織化率 2.8%

大学当局の皆様のご关心に敬意を表します。

学生会員は作業参加者数の増大に比して多少寂しいものの植樹会に対する関心は高まっており今後に期待したいと思います。

②会費収入合計295万円(終身会員の当年度分も含め)の目標に対し実績は253万円で約40万円の未達となりました。この原因は残念ながら120名の年会費未納者がありました。一方本年度から導入した終身会員制に123名もの申込を頂きましたので、来年度以降に繰り越す終身会員前受金は356万円となりました。

③通信連絡費予算65万円遵守は残念ながら多少オーバーしたが会員増大、会員名簿の徹底管理実行に鑑み已む無しと考えます。

(2) 定性的目標として掲げた活動フロンティア拡大に関しては下記を実行しました。

①昨年に続き8月、箱根の如水会管理の“坐忘伊藤助成記念山莊”の庭園整備作業

②9月東大駒場キャンパス見学

③10月三井物産が全国至るところに所有する森林の一つである千葉県の龜山森林で福嶋先生ご指導のもと森林管理研修実施（三井フォレスト社との合同研修会）

④11月群馬県玉原のブナ林作業。（福嶋先生主宰のNPOに合流）

（3）問題点として会員未納者数が増大している事が懸念されます。

今年個人会員合計で約120名（内一般会員106名、教職員14名）です。木目細かい回収努力に拘わらずこの結果で残念です。

如水会の規約に準じ、植樹会も3年連続年会費未納者は見做し退会者扱いとさせていただく方針です。

3. 学生との関係

（1）学生理事8名と学生班担当OBの連携で学生と植樹会との関係を強化するインフラの整備、拡充に成果がありました。学生理事の自主性、主体性に感謝しています。具体的には

①KODA祭関係：直前の学生/OBの共同清掃作業、KODA祭に教室をもらって直接参加、KODA祭実行委員会メンバーの植樹会活動への参画

②一橋祭関係：上記KODA祭と同じパターンの関係構築

③西お祭りへの参加において植樹会ブースでの企画“森のクラフト”が好評で定番イベントとして確立されつつあること。またキャンパス・ツアーや企画も永続可能

④運動部がグループで作業参加し始めたこと。陸上競技部、ラグビー部、ラクロス部など

⑤今後は作業参加者を学生会員に結び付けたい

（2）卒業記念植樹

3回目の植樹行事が学生主導で成功裏に進捗。3月東キャンパスで記念樹サクラの植栽セレモニーが執り行われ多くの学生と学長が出席されました。今後植樹会が樹木の管理を引き受けます。

（3）新入生入会促進

3月30日31日に新入生歓迎委員会主催のサークル紹介で、植樹会も部屋を割り当てていただき、入会勧誘活動を行いました。

（4）一橋植樹会集会所（施設課分室）

昨年来お願いしていた植樹会集会所が大学側の特別なご配慮により事務棟東側に設置されることが決定。新年度から利用可能な状況です。

学生の活動拠点として組織強化のため、新規自主企画実現のため有効活用して欲しいと期待しています。またOBもこの集会所で学生とのより緊密な関係がもてると思っています。

4. 広報関連

（1）如水会々報

①最近B5版への変更に伴い好評であった「キャンバスの四季」が取りやめとなつたのは惜しい残念です。

②植樹会通信は2ページを確保。活動報告、寄稿文など多彩な内容でPR効果を挙げていると自負できます。

（2）HP

①写真を多用しながら活動報告、種々案内、キャンバスの四季の移ろいを提示するとともに、作業開始以来の基本データの保持、規約、会員名簿のアップデートなどの役割を良く果たしていると思います。

②多種にわたる寄稿文も興味を高めています。今後とも会員からの積極的な投稿を期待しています。

（3）その他のPR活動

学生向けPRとして「一橋新聞」「HIT-YOU」「About H」「一橋スポーツ」「応援部雑誌」などへの広告掲載、また大学祭参加の情宣用のポスター、チラシの作成配布に注力しました。植樹会特製立て看板、施設課のお世話により西キャンパス本館脇の掲示板も活用させていただいております。

OB向けに作業参加促進、入会勧誘用の小冊子の改訂を検討中です。

以上が今年の活動報告ですが最初に述べた懸念材料に最後に触れたいと思います。

それは最近ボランティア作業参加者数、特にOB人数が漸減傾向を示していることです。

作業は植樹会の原点であり、また参加学生との交流という非常に大切な要素を含んでいます。三位一体の精神を発展させるためにもOB対策は至急に打つ必要があります。

参加勧誘卒年別担当者制度とか毎回の作業ごとのイベント企画（山菜天竺図大会、中秋のお月見会、自然薯掘り会、寒鯉大会とか現在やっている企画に加えて）とか幹事会で検討中なので徐々に効果が上がることを期待しています。

平成20年度事業報告（付表）

（1）参加者の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
教職員	67	81	68
O B	468	432	404
学生	230	399	461
計	765	912	933

（2）会員数の推移

会員種類	平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末
個人	一般	519	671
	教員	16	36
	職員	31	29
	(小計)	(566)	(736)
団体	16	17	17
特別	5	5	5
学生	56	33	41
合計	643	791	995
(有料会員)	583	741	936
* (免除会員)	60	50	59

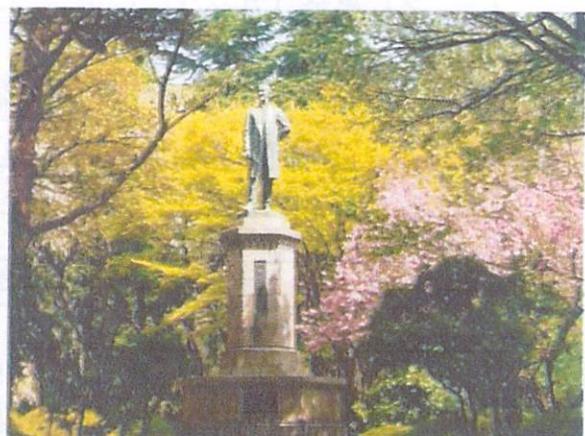
* 免除会員→卒業後2年未満の一般会員+特別会員(除法人)+学生会員

- ① 一般会員増179名中の149名(8割以上)は卒業年次会(延11回以上)における集中勧誘によるものです
- ② 有料会員数目標(900名)を達成、総じて入会促進成果は良好でした

植樹会の活動



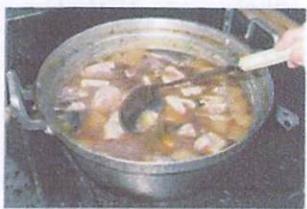
月例作業によってキャンバスは整備されています。
矢野二郎像周辺(下)は明るい景観へと一新、
サクラ類を配した庭園空間が蘇りました。



一橋祭(森のクラフト教室)

卒業生記念植樹

植樹会記念植樹



ブリ大根



キャンバス産山菜の料理



作業後、反省会・交歓会が開かれます。



キャンバスで採れた自然薯

一橋植樹会平成20年度収支決算案と平成21年度予算案（単位：千円）

科 目	今期予算	(内訳)	実績	比率(%)	来期予算案
I. 収入の部					
1. 会費	2,950		2,530		3,200
1) 団体		200	200	100%	200
2) 個人		2,750	2,009	73%	3,000
前受			△ 60		
3) 個人終身			3,940		
同上前受			△ 3,559		
2. 如水会支援	800		800	100%	800
3. 特定収入	760		1,586	209%	750
1) 総会会費		310	385	124%	400
2) 募金（カンパ）		50	6	12%	50
3) 寄付		400	1,195	299%	300
4. その他	130		16		10
当期収入	4,640		4,932		4,760
前期繰越	1,033		1,033		1,762
収入合計 (A)	5,673		5,965		6,522
科 目	今期予算	(内訳)	実績	比率(%)	来期予算案
II. 支出の部					
1. 学園祭賛助	200		200	100%	200
2. 組織強化（学生）	400		352	88%	400
集会所備品					400
3. 組織強化（一般）	200		161	81%	200
4. HPメンテナンス	650		577	89%	600
5. 広報用印刷物	200			0%	250
6. 学生広報	200		147	74%	150
7. 総会費用	310		357	115%	400
8. 記念植樹管理費	350		333	95%	300
9. 卒業生植樹支援	100		84	84%	50
10. 作業道具・備品	300		420	140%	300
11. 保険料	150		156	104%	150
12. 会議費	400		403	101%	450
13. 作業後反省会	400		235	59%	400
14. 事務・通信連絡費	650		749	115%	750
15. 雑費	100		29	29%	50
支出合計 (B)	4,610		4,203		5,050
次期繰越	1,063		1,762		1,472

1. 終身会費394万円入金。規定により38万円を当年に、残額356万円を前受とした。

2. 収入3. (3)寄付明細は、別紙「寄付」を参照願います。

貸借対照表 平成21年3月31日

単位：千円

資産の部		負債の部	
現金	0	終身会員前受金	3,559 注 1
普通預金	2,381	普通会員前受金	60
定期預金	3,000	繰越金	1,762
未収金	0	未払金	0
その他	0	その他	0
合計	5,381	合計	5,381

注 1 終身会員費3940千円の90.33%

寄付					
個人					
	氏名(敬称略)	卒年学部	寄付日	金額	
1	総会時寄付		4月21日	12,000	
2	亀井 裕子	(武末隆夫氏次女)	5月16日	300,000	
3	小塚 基武寿	昭 41 商	7月10日	20,000	
4	三石会	(石弘光ゼミ)	7月24日	518,000	
5	池川 靖彦	昭 43 経	10月11日	1,000	
6	中野 逸子	昭 59 社	11月8日	3,000	
7	横田 希代子	昭 62 法	11月8日	3,000	
8	井上 洋子	昭 61 法	11月8日	3,000	
9	小島 明日奈	昭 59 社	11月8日	3,000	
10	古賀 聖名子	昭 59 社	11月8日	3,000	
11	原 美里	昭 59 商	11月8日	3,000	
12	鈴木 千景	昭 59 社	11月8日	3,000	
13	永江 典子	昭 59 法	11月8日	3,000	
14	羽間 京子	昭 59 商	11月8日	3,000	
15	堀江 音太郎	昭 25 学	2月10日	10,000	
団体					
1	高知支部		5月29日	10,000	
2	後援会		2月19日	300,000	
平成20年度 寄付合計				1,188,000	

一橋大学後援会口 (平成20年ご寄付分は後援会予算平成21年予算として執行される)			
1	高木康子		50,000
2	田山 豊	平 6 経	200,000

平成20年度収支決算寄附金には後援会口住田氏20万円、田中氏10万円が含まれる。

監査報告書

平成 21 年 4 月 7 日

一橋植樹会会長 加納誠三 殿

私どもは、一橋植樹会の平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月までの事業年度における理事の業務執行状況を監査するため、理事から業務の報告を聞くなど必要と認めた手続きを実施しました。

また、同事業年度の収支及び財産の状況を検討するため、決算報告書、すなわち収支計算書および関連書類について監査を行いました。

監査の結果、理事の業務の執行は適切であり、また、上記決算報告書は収支の状況を正しく表示しております。

一橋植樹会

監事 住田笛雄

監事 小塙埜武寿

第2号議案一橋植樹会役員案(敬称略) ☆…平成21年度新任の役員

会長	旗野友夫	(昭38経)	理事	川崎勝晤	(昭46経)☆
顧問	福島司	東京農工大学院教授	"	岩城悦子	(昭47商)
"	田中政彦	(昭35経)	"	大川宏明	(昭47経)☆
副会長	鈴木勲	(昭38法)☆	"	横塚裕志	(昭48商)☆
"	志田哲朗	(昭39経)	"	高橋治夫	(昭48法)
"	八藤南洋	(昭40経)	"	竹澤京介	(平7経)
"	佐藤征男	(昭42経)	"	杉山武彦	(昭49博商)(学長)
"	鐘江健一郎	(昭44法)	"	金田正男	(副学長)
"	田嶋宣義	(昭51博社)	"	盛誠吾	(昭55博法)(副学長)☆
理事	石原一子	(昭27学)	"	坂内徳明	(昭54博社)
"	山本千里	(昭31商)	"	寺西重郎	(昭45博経)(名誉教授)
"	辻巻孝	(昭34商)	"	関啓子	(昭51博社)(社会学研究科教授)
"	國持重明	(昭35経)	"	筒井泉雄	(商学研究科教授)
"	土田将夫	(昭37商)	"	塙越義行	(大学事務局長)
"	藤木隆三	(昭37経)	"	緑川健	(大学施設課長)
"	中居紘一	(昭38経)☆	"	坂下勉	(大学学生支援課長)☆
"	鈴木徹郎	(昭39社)	"	鴎村惠	(商4年)
"	新里英雄	(昭41法)	"	豊田博之	(商4年)
"	関統造	(昭41社)	"	平林孝太	(商4年)
"	栗田克彦	(昭41商)	"	高島和弘	(社4年)☆
"	樋口文夫	(昭41法)	"	石田亮平	(商3年)☆
"	川村忠太郎	(昭42法)	"	鶴見圭佑	(経3年)☆
"	西村周一	(昭42社)	"	中西晶子	(法3年)☆
"	湯川敏雄	(昭42社)☆	"	竹田雄貴	(社3年)☆
"	高場恭幸	(昭43経)	"	山本華代	(社3年)☆
"	田中襄一	(昭45商)	監事	住田笛雄	(昭36商)
"	樋浦憲次	(昭45経)	"	小塙埜武寿	(昭41商)
退任される役員	河野正次(昭31商)	大泉潤(昭35商)	白石武夫(昭35法)		
	加納誠三(昭37経)	谷和久(昭37社)	寺西俊一(昭55博経)		
	奥野芳明(大学学生支援課長)	小野澤太郎(平21商)	岩崎真郷(平21法)		
	澤田有希(平21法)	沼尻晃輔(平21社)	本間奈菜(法4年)		

第3号議案 平成21年度事業計画

基本方針

今年度は新生植樹会の発足から6年目を迎えます。その間会員諸氏のご努力により、一橋植樹会は着実に発展してまいりました。この節目の年にこれまでの成果を踏まえつつ、また20年度の活動報告のなかで触れられました諸課題に対し前向きに取組んで参ります。

以下活動方針を項目毎にご説明致します。

1. ボランティア作業

(1) 「国立キャンバス緑地基本計画」に沿った作業の実施
今年の2月と3月に、福嶋先生のご指導で計画の達成度検証を行いました。概ね計画の狙った方向へ進んでいますが、各ゾーンにより大きなばらつきが目立ちました。これからも「緑地基本計画」を意識して作業を実施していきます。計画達成のために大学と今まで以上に連携をとり、共同で取り組んで参ります。

また総じて、東キャンバスの進み方が遅いので作業場所の選定の際に配慮する必要があります。

本年も月例作業の他に KODAIRA 祭、一橋祭のための特別作業も実施します。

なお小平キャンバスも視野に入れ、まず見学会実施を検討します。

(2) 作業参加者増対策の実施

活動報告にありましたようにOBの作業参加者が減少傾向にあります。作業参加者を増やすために下記の施策を実行します。

①作業日連絡網の整備

卒業年度別に連絡役を決め、毎回作業日の案内と作業参加の呼びかけを行う体制を整備しています。特に現役引退を迎える年代を重点的に実施します。同期からの連絡・勧誘により色々な面で大きな効果が期待できます。

②ボランティア作業への魅力の付加

毎回の作業日にイベントまたは興味を引くテーマを設定します。会員が関心を示すような「野草の天ぷらを楽しむ会」「花見の会」「秋の七草と月見の会」「自然薯掘り」「寒ブリ大会」など季節ごとのイベントを

作業に併せ企画します。

またその月の作業のメインテーマとして例えば「主庭園整備」「東キャンバス整備」「XX部コート周辺整備」などを明確に掲げるなどの工夫をします。

後程出でますが、運動部の学生と共同でそのグラウンドやコート周辺の整備を行う際に当該運動部OBに声をかけるなども面白いアイディアと思われます。

③土、日、祭日の作業実施検討

若手OBが参加し易い土、日、祭日の作業実施を引き続き検討して参ります。

実現できれば若手OBの植樹会への関心が高まり会員増にもつながります。

(3) 植樹会キャンバスツアールート制定と整備

KODAIRA 祭、一橋祭でキャンバスツアーラートの制定やルート添いにある樹木に樹木名を表示するなどの整備を検討します。キャンバスで開催される同期会やコンサート後にツアーラートの要望が出れば対応することにより、植樹会に関心を持って貰く良いPRの場に出来るでしょう。会員の中でツアーコンダクターの養成もしていきます。

(4) 記念植樹充実

記念植樹を再開して3年が経ちました。今後も緑地基本計画に沿い実施します。

2. 学生との連携

(1) 植樹会集会所の活用

大学側のご厚意で念願の植樹会集会所が完成しました。ここをOBと学生また学生同士の交流の拠点として活用し、学生達の植樹会への認識を深め作業への参加者が増えることを期待します。今まで学生との連絡がなかなかうまく取れませんでしたが、これからはこれを活用し学生同士の交流を盛んにすることにより連絡網が整えられ色々な連絡がスムーズに行われるようになるでしょう。学生の植樹会活動の活発化や作業参加増などが期待されます。

(2) 運動部との連携、共同作業の促進

一橋大学体育会の協力を得て各運動部の学生との連携を深め彼らの活動の場の周辺整備を共同作業で行います。今まで陸上競技部、硬式野球部、ラグビー部やラクロス部とは実施しましたが、本年度は更にいくつかの運動部との

共同作業を検討中です。この共同作業を通して継続的な作業への参加を促します。

(3) KODAIRA祭、一橋祭に参加

今年も KODAIRA 祭及び一橋祭へ植樹会として参加します。展示と直前に行うキャンパス整備作業を OB と学生が協働で実施することは大変意義あることで、植樹会はこれを積極的に支援協力することで、学生の植樹会への理解・関心を深めてもらいます。

(4) 卒業記念植樹への支援継続

3年続いた卒業記念植樹を本年も継続支援します。新卒者に植樹会を P R し新卒植樹会員獲得の良い機会として取組みます。

(5) 新入生入会促進

昨年に引き続き、入学時に新入生に対し実施される新歓委員会主催のサークル紹介でブースを出し植樹会の説明会を開きます。

3. 組織強化活動

(1) 定量目標

①会員総数 1,200名

有料会員 1,100名

②会費収入合計 320万円

(2) 定性目標

①会費未納者との接点強化

卒業年度別連絡網による作業日案内を通じて日頃のコミュニケーションを良くし、会員増と会費支払いにもつなげます。

②ホームカミングデー、OB卒業周年記念大会などでの植樹会の活動 P R と会員勧誘活動を引き継ぎ実施

③先生方に色々な機会に植樹会の説明と入会勧誘実施

(3) 長期定量目標

会員総数 3,000名

4. キャンパス外活動

本年度も他大学キャンパス見学などの外部研修、外部奉仕を実施します。

5. 広報活動

植樹会会員が 1,000 名に近づいてきました。これからは

会員の皆様に出来るだけ多くの機会に植樹会活動の報告と活動への参加要請を行うことが重要な課題となります。現在如水会々報に[植樹会通信]として 2 ページを確保し活動報告、作業案内、寄稿文などを掲載しています。また HP は毎月新しい内容に更新しています。前年度の活動報告にありましたように内容は大変充実しています。ただ残念ながら HP をご覧されている会員は多くありません。今後は先にお話ししました卒業年度別連絡網などを活用し、出来るだけ多くの会員に活動内容のご報告と作業等の諸活動への参加要請をさせて戴きます。併せて HP閲覧度の向上に努めます。本日ご出席の皆様には是非「一橋植樹会 HP」に親しんで戴きますようお願い申し上げます。

最後に他大学には類をみない教職員・学生・OB 一体となっての植樹会活動が更に活発になりますよう会員の皆さんのご支援をお願い申し上げます。

以上

2009年度 一橋植樹会幹事会組織

- I 企画総務班 【 幹事会企画運営、事業計画（企画・立案・実施）、
予算／決算、総会、報告会、植樹企画、記念植樹整備、
大学との折衝、通信連絡費管理 】
- 幹事： 正）会長 副）中居理事 高橋理事
- II 組織統括・OB班 【 組織強化統括、会員名簿管理、会費徴収、
OB会員・団体会員・特別会員の入会促進 】
- 幹事： 正）鈴木(歎)副会長 副）國持理事 鈴木(歎)理事
- III 組織教職員班 【 教職員会員の入会促進 】
- 幹事： 正）八藤副会長 副）藤木理事
- IV 組織学生班 【 学生会員の入会促進、学生との懇親会、卒業記念植樹企画、
学生の作業参加促進策・学園祭への参加企画、学内PR 】
- 幹事： 正）鎌江副会長 副）土田理事
副）鷲村理事 豊田理事 平林理事 高島理事
石田理事 鶴見理事 中西理事 竹田理事 山本理事
- V 広報班 【 HPの更新&案内、如水会報への投稿、学内誌との連携、
PR小冊子／チラシの作成、一橋新聞との連携 】
- 幹事： 正）佐藤副会長 副）西村理事 高場理事
- VI 作業班 【 月次作業の案内、参加者確認、当日の段取り、安全指導、
用具・備品の購入・管理、事故対策、打上げ会、
キャンパス外作業支援 】
- 幹事： 正）志田副会長
副）中居理事 鈴木(歎)理事 植口理事 湯川理事

平成21年度植樹会総会出席者名簿（敬称略）

	氏名	卒業年度	備考		氏名	卒業年度	備考
1	伊藤 照夫	昭 25 学		51	福島 清彦	昭 42 経	
2	中村 敬太郎	昭 25 学		52	川村 忠太郎	昭 42 法	
3	本多 完五郎	昭 26 学		53	本田 英生	昭 42 社	
4	石原 一子	昭 27 学		54	高場 恒幸	昭 43 経	
5	天野 順一	昭 30 経		55	杉本 伸之	昭 43 社	
6	山本 千里	昭 31 商		56	石澤 勝二	昭 44 法	
7	山下 彰	昭 31 経		57	鐘江 健一郎	昭 44 法	
8	竹内 啓介	昭 32 経		58	成瀬 聰	昭 44 法	
9	兵藤 浩	昭 34 経		59	保坂 証司	昭 44 社	
10	遠藤 幸男	昭 35 商	船橋支部長代理	60	田中 裕一	昭 45 商	
11	久木田 義雄	昭 35 商		61	樋浦 憲次	昭 45 経	
12	澤野 英果	昭 35 商		62	川崎 勝悟	昭 46 経	
13	石井 嘉雄	昭 35 経		63	岩城 悅子	昭 47 商	
14	岸田 加代	昭 35 経	故・岸田 登令夫人	64	大川 宏明	昭 47 経	
15	國持 重明	昭 35 経		65	東塚 治	昭 47 経	
16	田中 政彦	昭 35 経	由美子令夫人も同席	66	横塚 裕志	昭 48 商	
17	渡辺 俊一	昭 35 経		67	高橋 治夫	昭 48 法	
18	白石 武夫	昭 35 法	多摩北支部・昭和35年会	68	新悟	昭 54 経	
19	鈴木 秀一	昭 35 社		69	末松 義規	昭 55 商	
20	住田 笛雄	昭 36 商		70	酒井 雅子	昭 57 法	
21	杉森 登	昭 37 商		71	田所 亮子	昭 63 経	
22	土田 将夫	昭 37 商		72	竹澤 京介	平 7 経	
23	加納 誠三	昭 37 経		73	山田 昌弘	平 8 商	
24	藤木 隆三	昭 37 経		74	赤池 通隆	平 10 経	
25	横手 英毅	昭 37 経		75	星野 育夫	平 18 社	
26	高田 昌幸	昭 37 社		76	鳴村 恵	商 4	
27	北川 修司	昭 38 商		77	高島 和弘	社 4	
28	若林 照二	昭 38 商		78	中西 晶子	法 3	
29	出野 潔	昭 38 経		79	山本 華代	社 3	
30	中居 紘一	昭 38 経		80			
31	簗野 友夫	昭 38 経					
32	赤尾 義人	昭 38 法					
33	鈴木 熟	昭 38 法					
34	土田 宏	昭 38 法		81	杉山 武彦	学長	
35	渡辺 紀征	昭 38 社		82	米山 高生	商学研究科教授	
36	木村 希一	昭 39 経		83	筒井 泉雄	商学研究科教授	
37	志田 哲朗	昭 39 経		84	田崎 宣義	社会学研究科教授	
38	鈴木 徹郎	昭 39 社		85	林 大樹	社会学研究科教授	
39	田崎 譲一郎	昭 39 社		86	徳永 富士夫	総務企画課長兼学長室長	
40	清水 正敏	昭 40 商		87	雨宮 純	学長室長代理	
41	瓦林 秀嗣	昭 40 経		88	坂下 勉	学生支援課長	
42	八藤 南洋	昭 40 経		89	緑川 健	施設課長	
43	関戸 康男	昭 40 社		90	伊藤 正秀	施設課長代理	
44	小塙 垣武寿	昭 41 商		91	坪谷 正秀	施設課	
45	渡辺 徹	昭 41 経	埼玉南支部長代理	92			
46	樋口 文夫	昭 41 法		93			
47	関 統造	昭 41 社		94			
48	吉田 佑一	昭 41 社		95			
49	佐藤 征男	昭 42 経		96			
50	西村 周一	昭 42 経		97			



Let's Green & Clean
一橋植樹会